

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	観光企画課	職	課長	氏名	西尾 和秀
評価者	組織	観光企画課	職	課長	氏名	中山 隆志

	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	24,899 (R1)	13,252 (R2)	D
施策2	次代を担う石川の観光人材の育成に向けた取組を強化	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	24,899 (R1)	13,252 (R2)	D

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価		
施策	課題		成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性
					(年度)	(年度)	(年度)						
施策1	課題1	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	24,899 (R1)	13,252 (R2)	1 「金沢城・兼六園四季物語」開催事業	観光客全般	20,100	16,080	B	継続
								2 いしかわの観光資源商品化促進事業	観光事業者、旅行会社等	4,000	4,000	B	見直し
								3 加賀百万石回遊ルート誘客推進事業	観光客全般	30,000	24,499	B	継続
	課題2	石川ファンの拡大を図るためのおもてなしの向上	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	24,899 (R1)	13,252 (R2)	1 観光客の声を活かすおもてなし向上事業	観光客全般	1,900	1,900	B	継続
								2 ウェルカムいしかわ推進事業	観光事業者、一般県民	200	55	B	継続
	課題3	石川ならではの魅力の発信	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	24,899 (R1)	13,252 (R2)	1 ほっと石川観光プラン推進ファンド事業 資金貸付金	一般観光客	118,650	118,650	B	継続
施策2	課題1	観光振興を担う人材の育成	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	24,899 (R1)	13,252 (R2)	1 次代を担う石川の観光人材育成事業	観光事業者、一般県民	1,600	1,300	B	継続

※人数については、暦年の数値である

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 「金沢城・兼六園四季物語」開催事業	事業開始年度	H14	事業終了予定年度	
	根拠法令	ほっと石川観光プラン2016		
	計画等			

作成者	組織	観光企画課					
	職・氏名	主事 洞庭 沙紀					
	電話番号	076	-	225	-	1542	内線

●事業の背景・目的
 金沢城公園や兼六園などを舞台に、夜の魅力アップを図ることを目的に、四季を通じてイベントを開催し、観光石川の魅力を県内外にアピールすることで、石川ファンを増やし、観光誘客を図る。

●事業の概要
 ・金沢城・兼六園ライトアップ
 雰囲気異なる金沢城・兼六園の特長を活かしたイベントを実施(計50日間)

タイトル	開催日	開催時刻	備考
春の段 (5日間)	令和2年5月1日(金)～5月5日(火・祝) →中止	18:30～21:00	ライトアップ
初夏の段 (4日間)	令和2年6月1日(月)、5日(金)～7日(日) →中止	19:00～21:00	ライトアップ
夏の段	(4日間) 令和2年7月3日(金)、4日(土)、10日(金)、11日(土)→中止	19:30～21:30	ホテル観賞会
	(14日間) 令和2年7月18日(土)、19日(日)、23日(木・祝)～25日(土)、31日(金)、8月1日(土)、7日(金)～9日(日)、14日(金)、15日(土)、21日(金)、22日(土)	19:00～21:00	ライトアップ
長月の段 (3日間)	19日(土)～21日(月・祝)	18:30～21:00	ライトアップ
秋の段 (25日間)	令和2年10月24日(土)、25日(日) 令和2年11月7日(土)～29日(日)	17:30～21:00	ライトアップ
冬の段 (8日間)	令和3年2月5日(金)、6日(土)、12日(金)、13日(土)、19日(金)、20日(土)、26日(金)、27日(土)	17:30～21:00	ライトアップ

※ライトアップでは、手持ち提灯の貸し出しなども実施

●負担金交付先
 石川の四季観光キャンペーン実行委員会 (会長：石川県観光戦略推進部長)

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価	D
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大					
	指標	観光入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	30,000	24,588	24,753	24,915	24,899	13,252

事業費						
(単位：千円)						
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
事業費	予算	17,600	17,600	17,600	20,100	20,100
	決算	17,600	17,600	17,600	20,100	16,080
一般	予算	17,600	10,200	17,600	20,100	20,100
財源	決算	17,600	10,200	17,600	20,100	16,080
事業費累計		156,251	173,851	191,451	211,551	227,631

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、県全体の観光入込客数は前年比53.2%となっており、本事業の開催日数も減少(R1:67日→R2:50日)したが、1日あたりの来場者数で見れば前年比110%(R1:2866人/日→R2:3150人)となっており、一定の観光誘客効果があった。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	金沢城公園・玉泉院丸庭園・兼六園といった本県の貴重な観光施設を一体で見せることにより、夜の観光資源として定着している。まだ来園したことがない方のみならず、リピーターの獲得にも繋げるよう、引き続き、新たなイベントの実施等による魅力アップに取り組む。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 いしかわの観光資源商品化促進事業	事業開始年度	H29	事業終了予定年度	
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作成者	組織	観光企画課					
	職・氏名	専門員 吉田 真悟					
	電話番号	076	-	225	-	1539	内線

事業の背景・目的
 北陸新幹線金沢開業効果の全県波及と持続発展を図るため、平成26年度から「いしかわ旅行商品プロモーション会議」を開催し、地域の観光資源の発掘・磨き上げを進め、旅行商品化につなげる取り組みを行ってきた。
 29年度から、旅行商品の造成に精通した「旅行商品企画マネージャー」を石川県観光連盟に配置しており、引き続き、観光資源の更なるブラッシュアップと首都圏等の旅行会社へのプロモーションを一層強化する。

事業の概要
 旅行商品造成に精通した旅行商品企画マネージャー(大手旅行会社からの出向)を石川県観光連盟に配置
 (業務内容)
 (1) 観光資源の更なるブラッシュアップによる新旅行商品の開発
 (2) 旅行会社へのプロモーション

施策・課題の状況							
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価	D
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大						
指標	観光入り込み客数				単位	千人	
目標値	現状値						
令和7年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
30,000	24,588	24,753	24,915	24,899	13,252		
事業費							
(単位：千円)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
事業費 予算		4,000	4,000	4,000	4,000		
事業費 決算		3,400	4,000	4,000	4,000		
一般 予算		2,000	2,000	2,000	2,000		
財源 決算		1,700	2,000	2,000	2,000		
事業費累計		3,400	7,400	11,400	15,400		
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、県全体の観光入込客数前年比53.2%と減る中でも、旅行商品企画マネージャーによる県内全市町等への指導・助言や勉強会(1回・21人参加)の開催等を通じ、現地へのアクセス方法の確保や観光素材を結んだ広域的な企画の開発など、旅行会社へ提案する観光資源のブラッシュアップが図られた。 (R2企画開発商品) ・片山津温泉から送迎バス付きのフルーツスムージー体験 ・金沢・白山市で「金」に関連する体験や食を味わうバス・タクシープラン 等					
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	見直し	引き続きマネージャーを配置し、観光資源の更なるブラッシュアップやプロモーションの強化を図るとともに、新たに民間事業者の観光素材開発への支援・フォローアップにも取り組む。					

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 加賀百万石回遊ルート誘客推進事業	事業開始年度 R2	事業終了予定年度
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016

作成者	組 織	観光企画課
	職・氏名	主任主事 坂本 圭佑
	電話番号	076 - 225 - 1542 内線 3926

<事業の背景及び目的>

加賀百万石の城下町の町並みに加え、伝統工芸や伝統文化といった日本で唯一残された本物の江戸時代の武家文化が多く点在しているエリアに、復元整備される鼠多門・鼠多門橋、新たな観光案内所が加わることで、これらを一体的に楽しめる加賀百万石回遊ルートが形成される。観光地としての魅力が一層高まることから、観光ルートとして利用し、満足してもらおう、認知度向上や新たな魅力創出、回遊性を高めるための仕掛けを実施し、更なる観光誘客につなげる。

<事業の概要>

(1) 認知度向上事業(情報発信)

- ① 加賀百万石回遊ルートの特設PRページを開設
- ② 回遊ルートガイドマップ等の制作
- ③ 地元情報誌、テレビ等を活用した県内向け情報発信
- ④ SNSフォトコンテストの実施

(2) 新たな魅力創出事業

- ① 金沢城公園や兼六園など加賀百万石回遊ルート上での伝統芸能の実演
- ② 照明演出による灯りイベントの開催

(3) 回遊性向上の仕掛けづくり

- ① ルート上施設の共通入館券「SAMURAI PASSPORT(サムライパスポート)」の発行、利用促進プロモーション
- ② スタンプラリーの実施
- ③ ガイドツアー(モニター)の実施

施策・課題の状況							
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価	D
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大						
	指標	観光入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	令和7年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	30,000	24,588	24,753	24,915	24,899	13,252	
事業費							
	(単位:千円)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
事業費	予算					30,000	
	決算					24,499	
一般財源	予算					15,000	
	決算					12,250	
事業費累計			0	0	0	24,499	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、県全体の観光入込客数は前年比53.2%と減る中でも、R2.7月の鼠多門・鼠多門橋の完成によって形成された加賀百万石回遊ルートの魅力発信や認知度向上等の事業を実施したことで、ルートの中核である金沢城公園への入園者は、これまで約7割が石川門からであったのが、完成後は石川門が約4割、鼠多門が約3割となるなど、人の流れが大きく変化し、更なる賑わいの創出に繋がった。 また、夜間の魅力として実施した金沢城のライトアップや行灯・シャボン玉などの特別演出が好評となり、夜の賑わいが創出された。					
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	鼠多門・鼠多門橋の完成により人の流れが大きく変化し、金沢中心部における観光ルートとしてより満足度を高めるために、引き続き、ルート全体の魅力アップや認知度の向上と定着、回遊性の向上に取り組んでいく。					

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 観光客の声を活かすおもてなし向上事業	事業開始年度	H27	事業終了予定年度	
	根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作成者	組織	観光企画課			
	職・氏名	主事 堀口 弘貴			
	電話番号	076 - 225 - 1127 内線 3957			

<事業の背景及び目的>

北陸新幹線により増加している観光客を「おもてなし」の心を持って迎え、観光地石川のより一層のイメージアップやリピーター客の確保につなげるため、お客様が本県に対し、どのように思っているのか、良い意見、悪い意見を問わず受け止め、広く観光業界全体で共有し、迅速かつ柔軟に対応できる体制を整えることを目的とする。

<事業の概要>

新幹線開業後の実態や問題点を把握し検証するため、「お客様の声」を募集する。併せて、同じクレーム等が発生しないよう、業界全体で「お客様の声」を共有し、「おもてなし」の向上を図る。

交付先：(公社)石川県観光連盟

(1) アンケートハガキの作成、設置
設置先：県内主要駅、道の駅、観光情報センター、空港、宿泊施設 等

(2) 観光関係団体との情報共有
いただいた声を取りまとめ、観光連盟会員やその他観光関係団体にデータを送付

施策・課題の状況							
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価	D
課題	石川ファンの拡大を図るためのおもてなしの向上						
	指標	観光入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	令和7年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	30,000	24,588	24,753	24,915	24,899	13,252	
事業費							
	(単位:千円)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
事業費	予算	2,000	2,000	1,900	1,900	1,900	
	決算	2,000	2,000	1,900	1,900	1,900	
一般	予算	0	2,000	1,900	1,900	1,900	
	決算	0	2,000	1,900	1,900	1,900	
財源	決算	0	2,000	1,900	1,900	1,900	
事業費累計		5,000	7,000	8,900	10,800	12,700	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性 <small>(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)</small>	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、県全体の観光入込客数は前年比53.2%と減る中でも、お客様からの声について、関係団体や事業者間で共有するとともに、改善を求める意見は対象施設に連絡し改善を促すといった取り組みを積み重ねてきた結果、令和2年度に寄せられた声では、「満足」、「やや満足」の評価が88.0%と、昨年度(令和元年度:86.0%)から2.0%の増となった。					
今後の方向性 <small>(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)</small>	継続	引き続き、観光客の意見や要望を的確に把握し、関係団体や事業者等と連携して、おもてなしの向上を図り、観光地石川のイメージアップや、リピーター客の確保につなげていく。					

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	ウェルカムいしかわ推進事業	事業開始年度	H22	事業終了予定年度		作 組 織	観光企画課		
		根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016				成 職・氏名	主事 久田 光夏	
							者 電話番号	076 - 225 - 1127 内線 3923	

<事業の背景及び目的>

北陸新幹線金沢開業により増加している観光客を「おもてなし」の心を持って迎え、観光地石川のより一層のイメージアップやリピーター客の確保につなげるため、県民総ぐるみで「おもてなし」向上に向けた取り組みを推進し、県民一人ひとりが当事者意識を持つための意識浸透を図る。

<事業の概要>

観光事業者向け、一般県民向けの「おもてなし講座」を開催

交付先 : (公社)石川県観光連盟

スキルアップを図りたい観光事業者やおもてなしについて学びたい一般県民向けにおもてなしに関する講習会を開催する。(テーマに応じて講師を派遣)

対 象: 企業や各種団体(公民館、地域団体など)が開催する会合、研修会等

内 容: 私たちにもできるおもてなし、おもてなしとは何か

講師例: ほっと石川観光マイスターなど

施策・課題の状況							
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価	D
課題	石川ファンの拡大を図るためのおもてなしの向上						
指標	観光入り込み客数				単位	千人	
目標値	現状値						
令和7年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
30,000	24,588	24,753	24,915	24,899	13,252		
事業費							
(単位: 千円)		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
事業費	予算	500	400	320	250	200	
	決算	500	160	100	250	55	
一般	予算	0	400	320	250	200	
	決算	0	160	100	250	55	
事業費累計		25,200	25,360	25,460	25,710	25,765	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、県全体の観光入込客数は年比53.2%と減る中でも、企業や各種団体が開催する「おもてなし講座」に講師を派遣し(10回・262人受講)、県民がおもてなしについて考えるきっかけづくりとした。 また、観光客から寄せられたご意見も、「満足」、「やや満足」の評価が約9割となっており、事業を通して、おもてなしの維持・向上につながっている。					
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	県民のおもてなしの向上を図り、観光地石川のイメージアップやリピーター客の確保につなげるため、引き続き、企業や団体へのおもてなし講座の周知を行い、制度の利用を促す。					

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	ほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	事業開始年度	H28	事業終了予定年度	
		根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作成者	組 織	観光企画課			
	職・氏名	主事 山下 睦貴			
	電話番号	076 - 225 - 1126 内線 3917			

事業の背景・目的
 平成28年3月に策定した「ほっと石川観光プラン2016」に基づき、(公社)石川県観光連盟がほっと石川観光プラン推進ファンドを活用して実施する北陸新幹線金沢開業効果の持続・発展に向けた国内誘客に向けたプロモーション活動の円滑な実施のため、資金繰りに必要な資金の貸し付けを行う。

事業の概要
 1 貸付額 118,650千円
 2 貸付先 (公社)石川県観光連盟

【参考】ほっと石川観光プラン推進ファンドを活用した事業内容
 ○能登・加賀・金沢における各地域での魅力づくり
 　＜能登＞
 　　能登ふるさと博の通年開催(能登インスタ映えフォトキャンペーンなど)
 　＜加賀＞
 　　加賀の地域資源を活用したクイズラリーの実施など
 　＜金沢＞
 　　金沢での音楽によるイベントなど

○いしかわ旅行商品プロモーション会議の開催
 市町・観光団体等が発掘・磨き上げた観光素材を旅行会社の商品造成責任者に提案し、助言を受ける会議の開催

施策・課題の状況							
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価	D
課題	石川ならではの魅力の発信						
	指標	観光入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	令和7年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	30,000	24,588	24,753	24,915	24,899	13,252	
事業費							
	(単位:千円)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
事業費	予算	92,000	149,150	110,650	127,650	118,650	
	決算	92,000	149,150	110,650	127,650	118,650	
一般	予算	0	0	0	0	0	
財源	決算	0	0	0	0	0	
	事業費累計	92,000	241,150	351,800	479,450	598,100	
評価							
	項目	評価	左記の評価の理由				
	事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により、県全体の観光入込客数が前年比53.2%となり、能登・加賀・金沢それぞれの観光入込客数も前年度を下回り、本事業についても、一部事業の中止や規模縮小を余儀なくされたが、コロナ下でも実施可能な事業を行い、各地域への誘客を図った。 プロモーション会議では、コロナの影響で秋のみの開催となったが、旅行会社からの助言により、複数の素材が旅行商品化につながった。				
	今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	引き続き県内全域への誘客促進を図るため、各地域での魅力づくりや旅行商品造成に向けた取り組みの推進など、(公社)石川県観光連盟が実施する事業に対し必要な資金の貸し付けを行う。				

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 次代を担う石川の観光人材育成事業	事業開始年度 H28	事業終了予定年度	作 組 織 観光企画課
	根拠法令・計画等 ほっと石川観光プラン2016		成 職・氏名 主事 堀口 弘貴
			者 電話番号 076 - 225 - 1127 内線 3957

<事業の背景及び目的>

北陸新幹線の金沢開業に伴う観光入り込み客の拡大や外国人旅行者の増加、ICTの発達による旅行者の趣味嗜好の多様化など、本県観光をとりまく環境が大きく変化している。

こうした中、これからの石川の観光がさらに飛躍、発展するためには、既存の観光産業の枠にとらわれず、様々な業種の方々が分野を超えて新しいビジネスの創造にチャレンジするとともに、常に魅力あるサービス(価値)を提供していくことが求められている。

「いしかわ観光創造塾」では、受講生同士が将来のビジョンを共有し、ともに学ぶことで、企画・実行力を備えた次代のリーダーを育成する。

<事業の概要>

「いしかわ観光創造塾」の開催

- ・宿泊、交通、旅行業、観光施設、飲食などの幅広い観光関連事業の若手経営者や幹部候補等を対象として、観光に関わる多様な分野の人々と連携・協力して、本県観光の飛躍・発展に貢献できる人材を育成する。

期間：令和2年5月～令和2年11月

講座：14回

内容：リーダーに求められる、マーケティングやマネジメント、ファイナンス等の能力について、一方的な講義ではなく、グループワークを基本とした主体的に学ぶ形式を採用し、かつ取扱う内容についても具体的な事例(ケースメソッド)を取り入れることで、実践的な課題解決手法を学ぶ。

交付先：(公社)石川県観光連盟

施策・課題の状況						
施策	次代を担う石川の観光人材の育成に向けた取組を強化				評価	D
課題	観光振興を担う人材の育成					
	指標	観光入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	30,000	24,588	24,753	24,915	24,899	13,252

事業費						
(単位：千円)		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費	予算	3,000	3,000	2,100	1,700	1,600
	決算	1,577	2,850	2,100	1,700	1,300
一般	予算		3,000	2,100	1,700	1,600
財源	決算		2,850	2,100	1,700	1,300
事業費累計		1,577	4,427	6,527	8,227	9,527

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	・新型コロナウイルスの影響により、県全体の観光入込客数は前年比53.2%と減少し、観光産業を取り巻く状況が厳しい中においても、令和2年度は、前年度と同人数の28名の参加のもと、一部オンラインにより開催するなど工夫をこらしながら、分野を超えたネットワークの構築による新たなビジネスの創出や、魅力あるサービス等の提供を後押しした。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	引き続き、講義の内容や開催方法の工夫・見直しを図りながら、観光連盟や関係団体と連携・協力して、本県観光の将来を担う人材の育成に取り組む。